

兵庫保険医新聞

第1799号
2015年11月25日

発行所 兵庫県保険医協会
http://www.hhk.jp/
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078-393-1801
(1部350円送料共・年間購読料12,000円)
振替01190-1-2133
(会員の購読料は会費に含まれています)

今号の記事

政策解説「医療経済実態調査」を読み解く 3面

第24回日常診療経験交流会 参加記 4～6面

研究 診内研より
面 プライマリ・ケア医に伝えたいこと 8面

兵庫保険医新聞 新年号

会員投稿募集

テーマ ①自由題 ②いま、平和を考える
締切 12月11日(金) 必着
送り方 メール sanda-a@doc-net.or.jp
FAX 078-393-1802
お問い合わせは、☎078-393-1807 新聞部まで

政策研究会

2016年診療報酬改定は▲1.2%!?

個々の点数や要件に注目を



診療報酬改定のプロセスや次期改定の見通しを語った池上名誉教授

池上慶應大名誉教授が講演

協会は11月7日、慶應義塾大学名誉教授で医療経済学会会長や中協の調査専門組織委員、終末期医療に関する意識調査等検討会委員などを歴任した池上直己慶應大学名誉教授を講師に

池上名誉教授は、診療報酬改定を三つの段階に分けて解説。第1段階では、改定後の医療費をいくらすののかを決めて、それに見

また、実際の改定率は非

迎へ、政策研究会「国の医療政策と医療機関の対策」診療報酬改定全体の方向性、及び地域医療構想を踏まえて」を協会会議室で開催。会員ら50人が参加し

合う全体の改定率を決める

として、第2段階では、個々の診療行為の点数を決める

ため、個々の診療行為の点数を加減し、それぞれ予想

される医療行為の回数とかけて第1段階の金額になる

ように調整する。そして、第3段階として、さらに個

々の行為等の請求要件の改定を行うというもの。

その上で、2016年度改定について、「6月30日

に閣議決定された『骨太の方針』に従って、高齢化以

外の増加を認めないなら、改定率はマイナス1・2%

と計算される」と厳しい見方を示した。

また、実際の改定率は非

討論では、「社会保障闘争総がかり行動を」「戦争法案反対の運動を」など、医療・社会保障改善、平和・公害運動の強化を求める

社会保障改善運動の強化や会員の役に立つ活動のさらなる充実などを求め、活発な発言が出された(上)特別講演で、菊池英博氏は新自由主義を批判し、共存共栄型資本主義への転換が必要と説いた(右)



社会保障削減と消費税増税をくい止め、国民医療の改善に全力を尽くそう――。協会は11月15日に第88回評議員会・臨時決算総会・第38回共済制度委員会を開催。評議員ら105人が参加し、前半期会務報告と後半期の重点課題を承認した。日本金融財政研究所所長の菊池英博氏が「新自由主義の自滅」をテーマに特別講演した。

西山裕康理事長は「社会保障と税の一体改革」は『社会保障費の削減と消費税の増税』に他ならない。結果として格差医療、格差介護が持ち込まれ、そのしわ寄せが社会的弱者に及ぶ危険性がある」「診療報酬は医療経営の原資であるとともに、国民が受けられる医療の量や質を決定するもの。日本の医療の有効性・安全性を確保し、安心・最適・非営利の医療を全国民に安定的に提供し、また医療難民、介護難民を生まな

いたためにも、堂々と診療報酬プラス改定を要求しよう」と開会あいさつした。

武村副理事長が、診療報酬大幅引き上げ・消費税の再増税阻止・患者負担の軽減などを中心に国民医療の改善に全力を尽くすことなどを後半期の重点課題として提案。

第38回共済制度委員会では、共済事業報告および事業計画案が報告され、特別報告として三井生命保険株式会社執行役員の江口浩章氏が「三井生命は経営統合でどう変わるのか」をテーマに特別報告を行った。臨時決算総会では、14年度決算報告が採択された。

協会などをつくる「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会(代表世話人・吉岡正雄協会副理事長)は11月8日に協定会議室で、市民講座を開催。「危ない健康情報を見分けるコツ」ニ

と題し、群馬県伊勢崎市・おない内科クリニック院長の小内亨先生を講師に、市民・医療関係者ら94人が参加した。

小内先生は糖尿病の専門家として、ダイエットなど

協会の健康情報について、ほとんどは仮説ばかりで科学的に証明されておらず、必ずしも正確な情報を伝えている」と、「ゆずや酢玉ねぎが糖尿病にいい」「ふくらみぎをむいただけで病気がよくなる」「βカロテンがよくない」「βカロテンが

健康情報を見分けるコツ」ニと題し、群馬県伊勢崎市・おない内科クリニック院長の小内亨先生を講師に、市民・医療関係者ら94人が参加した。

小内先生は糖尿病の専門家として、ダイエットなど

協会の健康情報について、ほとんどは仮説ばかりで科学的に証明されておらず、必ずしも正確な情報を伝えている」と、「ゆずや酢玉ねぎが糖尿病にいい」「ふくらみぎをむいただけで病気がよくなる」「βカロテンがよくない」「βカロテンが

健康情報を見分けるコツ」ニと題し、群馬県伊勢崎市・おない内科クリニック院長の小内亨先生を講師に、市民・医療関係者ら94人が参加した。

小内先生は糖尿病の専門家として、ダイエットなど

協会の健康情報について、ほとんどは仮説ばかりで科学的に証明されておらず、必ずしも正確な情報を伝えている」と、「ゆずや酢玉ねぎが糖尿病にいい」「ふくらみぎをむいただけで病気がよくなる」「βカロテンがよくない」「βカロテンが

健康情報を見分けるコツ」ニと題し、群馬県伊勢崎市・おない内科クリニック院長の小内亨先生を講師に、市民・医療関係者ら94人が参加した。

小内先生は糖尿病の専門家として、ダイエットなど

「保険でより良い歯科」連絡会・市民講座

健康情報見分ける リテラシー学ば



「ダイエットに効果的」などの健康情報の科学的根拠を検証した

すには、これまでの経験から仮説を設定し、基礎実験、動物実験での証明、人を対象にした比較試験を経ることが必要であるとし、健康情報を読み解くには「ちょっと変だな」という感覚を身につけることが重

要とした。健康のためには、いろいろな食材を組み合わせた食事と運動が大切であるとまとめた。

参加者からは、「健康情報におどらされてしまうので、今日は楽しく勉強になりました」「知ることの大切さ、知ろうと努力せねば」と思い感じました」など好評を得た。

終了後には、歯の健康相談を実施し、6件の相談があった。

燭心

11月23日は勤労感謝の日、日時が固定された数少ない祝日だ。収穫物に感謝する行事として飛鳥時代に始まった「新嘗祭」が天皇行事・国事行為とされ、GHQの占領政策で現在の形に。労働と収穫物に感謝する日になった▼「日本国憲法」には、国民の義務として労働・納税・教育が規定されている。労働の義務には権利規定もある。西欧では宗教改革の影響で「労働は神聖なもの」「働くことは神のご意志」とされその影響もあるそう。失業や労働者が生活できないような条件での労働は、国が国民に権利を保障していないことになり、憲法違反である。これが理解できれば何となく、義務とされる労働の意味が分かる▼賃金労働者の4割が非正規労働者と厚生労働省が発表。定年後再雇用、パート、派遣社員などは、賃金だけでなく、公的医療保険・公的年金の全てで、正規労働に比べ条件が悪くなる。パートになった要因が「家族の介護のため」というのも多いらしい。企業側の理由は「人件費節約」。自民・公明の税制調査会は法人税をこの2年間で3・3%引き下げるとした。理由は設備投資の拡大と、賃金を上げるためという。明らかに矛盾する施策が堂々と進められる悲しい事態▼労働に従事しその賃金で楽しい暮らし・子育てをし、老後の心配もなく過ごせる、この当たり前のことを行つのが政治だ。国民を貧困にし、不安にし危険にさらすような政治は政治家の労働・使命に反する。感謝に値せず。(無)

主張

先月「大筋合意」したTPP（環太平洋経済連携協定）。マスコミは、安価な輸入農産物の輸入増による国内農業への影響や輸出増が望めるとされる自動車などについてばかり報じているが、TPPの本質はこうした関税の引き下げではなく、目に見えない「非関税」分野にある。

実際、TPP協定文書30章のうち、関税に関する章は「2 物品の貿易」「3 繊維及び繊維製品」など

5章くらいで、その他20数章は投資、サービス貿易、知的財産などの条項が並んでおり、この関税以外の分野に国民生活に直結する医療や金融が含まれている。

さらに、TPPには「ラチェット条項」という、一度行った規制緩和は元に戻

体の規制によって、進出企業に不利益が起ったと判断した場合に、投資先の国や自治体に対して損害賠償を求めることができる制度である。政府は「公的医療保険は交渉の対象となっていない」と説明しているものの、多国籍企業からの危険性があるのだ。

本当の狙いは

「目に見えないもの」

—TPP「賛成6割」を考える

療分野の市場開放要求や過大な損害賠償につなげられ、混合診療解禁や医療への営利企業の参入につながり、国民皆保険制度が破壊される恐れがある。

しかし、こうした事実をマスコミが報じない。ジャーナリストの堤未果氏は、政府から強い圧力がかかっているからと指摘する。

朝日新聞の世論調査では、TPPへの参加について「賛成」が58%となっているが、このような本質が

すことができないという条項も盛り込まれている。これにより、日本国民が森に迷い込んで（規制緩和をして）、間違いに気が付き引き返せず、深い森に迷い込んだままになってしまう危険性があるのだ。

日本人が営々として築き上げた、WHO（世界保健機関）も世界一と認める大切な宝物、国民皆保険制度。われわれは、後世にアメリカ型医療ではなく、この日本型医療を残さなくてはならない。それが責務である。承認手続きが行われる来年1月の通常国会開始までに、改正に50年以上も要した日米修好通商条約よりも不平等といわれる、TPPの見えない部分を明らかにし、知らせる努力を継続したい。

診療報酬プラス改定／消費税ゼロ税率

現場の努力限界

二つの署名 各600筆超に

協会が取り組む二つの会員署名が、ぞくぞくと返信されている。11月17日現在、診療報酬プラス改定と患者負担軽減を求める署名は639筆、消費税の医療に対するゼロ税率適用と増税中止を求める署名は617筆が集まっている。返信がまだの先生は、FAX078-393-1802までお送りいただきたい。一言欄に寄せられた声の一部を紹介する。

私の一言

・医療の質を向上させ、国民が安心安全な医療を受けられるようにするために、受診抑制、診療報酬抑制は本末転倒。社会保障費に十分な予算を確保してください。

（東灘区）
・人件費、材料費、技工代

など経費は増えていく一方で、診療報酬はなかなか引き上がった実感がありません。窓口負担金を心配されて診療を控える患者さん多いんじゃないかな。

（芦屋市・歯科）
・国ぐるみでアベノミクスと称するマネーゲームに奔走する姿には恐怖を覚えます。社会保障はわざわざに

されたままで、もはや国民皆保険の体をなしていません。現場の医師の身を切る努力も限界にきています。

（篠山市・歯科）
・消費税が8%上がったこと

で、薬の処方箋を院外に変えました。院内処方の方が患者さんの窓口負担も少なかったのですが、医療機関にとってメリットがないため院外へ変更せざるを得ませんでした。（尼崎市）

・政府は大企業へは法人税減税という恩恵を考えているようですが、医療・福祉・患者など弱者へはどのような配慮をいただけるのでしょうか。

（西区・歯科）
・急性期病院は設備医療機器への投資が多いのでそれだけ損耗が増加している。インボイス方式を採用しても緊急にゼロ税率の適用を。

（明石市）

病院・有床診療所対策部 経営対策懇談会

事故調の概要分かり 安堵した気持ち

感想文

10月からの医療事故調査制度の開始に伴い、病院・有床診療所対策部は10月31日、経営対策懇談会「医療事故調査制度の概要と対応」を県農業会館で開催。

（中村・平井・田邊法律事務所、大阪市北区）が講演し、42人が参加した。参加者の感想を紹介する。

反核医師のつどい in 愛知

核のない世界 世論の力で実現を

参加 理事 福田 俊明

「第26回核戦争に反対し、核兵器の廃絶を求める医師・医学者のつどい」（同実行委員会主催）が10月31日・11月1日の両日、名古屋市内で開催され、全国31都道府県から246人の医師・歯科医師・医学生が集まった。兵庫協会からは、武村義人・近重民雄・加藤擁一・川西敏雄各副理事長、福田俊明・白岩一心両理事、松岡泰夫評議員が参加した。福田理事の参加記を紹介する。



核廃絶の実現を訴える 秋葉前広島市長

トを広島・長崎に招待し、被爆の実相を伝えてもらう「ヒバクシャ・トラベル・プログラム」の運営に携わり、1999年広島市長に就任。平和市長会議会長を務め、国内外の約5千の都市が賛同する会へと育てたこと。核のない世界は世論なしでは実現できない。

特別講演は、前広島市長の秋葉忠利氏。一貫して被爆の実相の国内外への普及と核廃絶を訴えてこられた方だ。世界のジャーナリスト英朗氏。

「憲法の破壊にあらがう」という題で、弁護士の川口創氏が講演された。この9月の安保関連法成立を振り返り、6月上旬の憲法審査会での長谷部恭男早稲田大学教授らの「憲法違反」発言で風向きが変わり、安保法は違憲、という見解が一般化したことは大きかったという。集団的自衛権の行使によって、戦争の加害者になることは是非が問われている。特に愛知は航空自衛隊の派遣拠点、つまり加害の拠点であり、軍事ターゲットでもあると指摘されていた。

「憲法の破壊にあらがう」という題で、弁護士の川口創氏が講演された。この9月の安保関連法成立を振り返り、6月上旬の憲法審査会での長谷部恭男早稲田大学教授らの「憲法違反」発言で風向きが変わり、安保法は違憲、という見解が一般化したことは大きかったという。集団的自衛権の行使によって、戦争の加害者になることは是非が問われている。特に愛知は航空自衛隊の派遣拠点、つまり加害の拠点であり、軍事ターゲットでもあると指摘されていた。

「憲法の破壊にあらがう」という題で、弁護士の川口創氏が講演された。この9月の安保関連法成立を振り返り、6月上旬の憲法審査会での長谷部恭男早稲田大学教授らの「憲法違反」発言で風向きが変わり、安保法は違憲、という見解が一般化したことは大きかったという。集団的自衛権の行使によって、戦争の加害者になることは是非が問われている。特に愛知は航空自衛隊の派遣拠点、つまり加害の拠点であり、軍事ターゲットでもあると指摘されていた。

「憲法の破壊にあらがう」という題で、弁護士の川口創氏が講演された。この9月の安保関連法成立を振り返り、6月上旬の憲法審査会での長谷部恭男早稲田大学教授らの「憲法違反」発言で風向きが変わり、安保法は違憲、という見解が一般化したことは大きかったという。集団的自衛権の行使によって、戦争の加害者になることは是非が問われている。特に愛知は航空自衛隊の派遣拠点、つまり加害の拠点であり、軍事ターゲットでもあると指摘されていた。

医療事故調査制度が施行され1カ月が経過し、改正された医療法の条文や省令あるいは通知だけでは理解しにくいところがあり、この制度に迷っていた施設も多かったのではないかと推察する。

こうした中、日本医療法人協会「医療事故調運用ガイドライン作成委員会」委員でいらっしやる田邊先生の講演を拝聴する機会に恵まれたことに、心から感謝申し上げます。

先生は、本制度の概要や留意点・問題点あるいは今後の対応方法について、くわしく説明された。配布のあった70ページに及ぶ同「ガイドライン」最終報告書のポイントを、受講者が納得できるようにまとめた内容であり、具体的には過去にあった事故（？）の実例から、センターへの届出が必要か否か、すなわちその医療行為（事故）が対象なのか、あるいは対象外であるかについての、受講者とのQ&A方式で分かりやすく説明を受けた。

そうした中で、原因のほつきりしないものは対象外。手術、処置、投薬およびそれに準じた医療行為が対象であること。そして、カルテには「生命にかかわることもある」と、患者・家族等にインフォームド

consentを行った内容を記載しておくことが重要であると付け加えられた。最後に、「判断に迷ったら、私（田邊講師）に相談してもらって結構」と締めくくられた。私は小施設の事務長だが、この講演会に参加させて

いただいた、この制度の運用のあり方がおぼろげながら理解でき、安堵している。

田邊講師に厚くお礼申し上げます。

【篠山市・にしき記念病院 事務長 森本 榮二】

参加者は日本三名園の一つである岡山後楽園の見学や記念撮影、おみやげ選びなどを楽しんだ。

「ひまわり号」は、年に一度、障害者とその家族、ボランティアが参加する貸切列車での日帰り旅行。障害者自身がまちへ出て地域の人たちとふれあうことにより、社会の障害者への関心を高めることが、だれもがすみよいまちづくりの原点と考え、1984年から協会や障害者団体などを中心に実行委員会をつくり、運行を続けている。

第29回「神戸ひまわり号」

貸し切り列車で 岡山後楽園へ



障害者とボランティアで班をつくり、後楽園を散策

協会が実行委員会に参加する障害者フレンドシップトレイン「神戸ひまわり号」が11月8日、岡山県岡

山県岡

政策解説

「第20回医療経済実態調査」を読み解く

協会政策部

診療報酬プラス改定と損税解消を

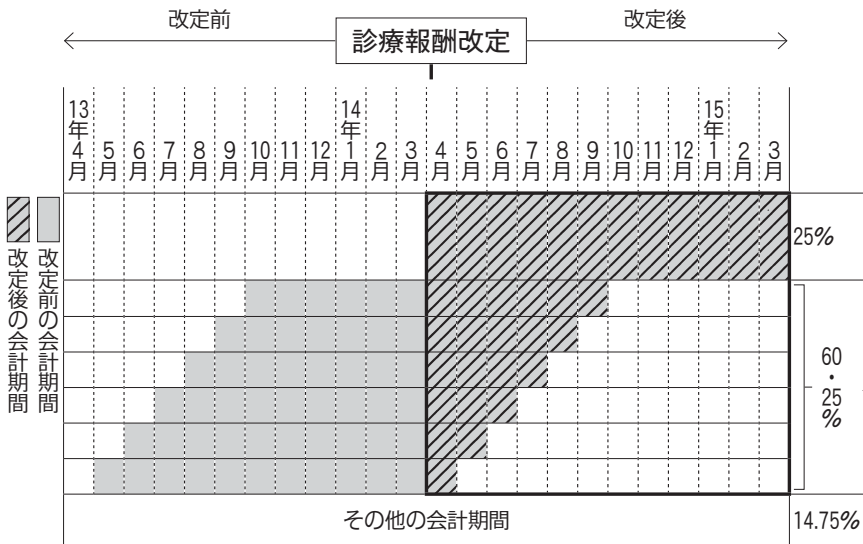


図1 医療経済実態調査にデータを提出した一般診療所(医療法人・個人)の会計期間

厚生労働省は11月4日、「第20回医療経済実態調査」の結果を中央社会保険医療協議会に報告した。医療経済実態調査は診療報酬改定の前年に行われ、次期診療報酬改定の基礎資料とされる。マスコミ各紙は「薬局や診療所の利益率高く(11月4日付日経)」「診療所は利益安定(10月30日付朝日)」などとしているが、協会政策部では、調査方法の問題点や結果から見える医療機関経営の実態について検証を行った。

ど、改善が図られてきた。今回の調査では、各医療機関の2014年4月の診療報酬改定の前後の決算データを比較するものとなっている。しかし、厚生労働省が「この調査における損益状況、給与費は平成27年(2015年)3月末までに終了する直近の2事業年度の数値である」としているように、診療報酬改定をまたいだ会計期間を採用している医療機関のデータも多数含まれている(図1)。新たな診療報酬体系

また、厚生労働省が医療保険行政のための基礎資料を得ることを目的として行っている医療費の動向調査「MEDIAS(メディアス)」と医療経済実態調査の結果を比較してみると、メディアスでは2013年度の医科診療所1施設当たり医療費の分布統計(入院含む・公表は入院含めた結果のみ)では、中央値が7417万円、最頻値は5000万円となっているのに対し、医療経済実態調査の医科一般診療所(全体・入院収益なし)の保険診療収益は1億573・8万円と大きく乖離している。

同様に歯科診療所でも、1施設当たり医療費がメディアスの中央値は3241万円、最頻値は2400万円

一般的に個人が開設した医療機関を医療法人にする場合、煩雑な設立手続きに加え、決算期ごとに登記や保健所への書類提出が必要になり、従業員を全て社会保険に加入させる必要もあることから、医療法人立の診療所は必然的にかなり規模の大きな診療所となる。そうした診療所の院長の

ラジオ関西番組出演
毎週水曜20時25分～
「医療知ろう!」放送中!!
AM558kHz/1395kHz (但馬放送局)
11月26日 インフルエンザに注意
12月3日 武庫川的环境保全

人事労務コンサル
社会保険労務士
ISR梨本事務所
労働条件・就業規則
(労働保険事務組合)
経営者会議
労務監査・給与計算

信頼・向上そして社会貢献

ホームページ www.isr-group.co.jp
グループ代表 (CEO) 梨本剛久

078-360-6611 大代表

医療経済実態調査については、長らく協会・保団連をはじめ日本医師会など多くの医療関係団体は、その調査方法について批判し、改善を求めてきた。

その結果、2009年の第17回調査ではそれまでの単月データに年間決算データが加わり、11年の第18回調査では対象医療機関の抽出率が引き上げられるなど、

実際に、今回の調査で、2014年改定後の診療報酬体系下の1年間の決算データを提出した医療機関の割合は、25%程度である。一方、新たな診療報酬体系下における決算期間が半年に満たない医療機関数は約6割に上っている。これでは、現在の診療報酬体系下での医療機関の経営状況を的確に把握することはできない。

今回の医療経済実態調査では、医科(個人・入院収益なし)・歯科診療所(個人・病院(医療法人))ともに、2013年度と2014年度を比べると、医療収益はそれぞれ、0・15%、0・41%、0・20%とわずかながら増加している。しかし、医療・介護費用もそれぞれ0・74%、0・39%、2・33%増となっている。結果、歯科診療所(個人)では、損益差額が0・7%とわずかながら増加したもの、医科診療所(個人・入院収益なし)、病院(医療法人)の損益差額は、1・15%、5・27%も悪化しており、損益差額が減少している(図2、4)。

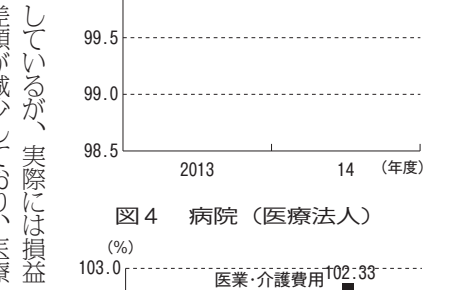
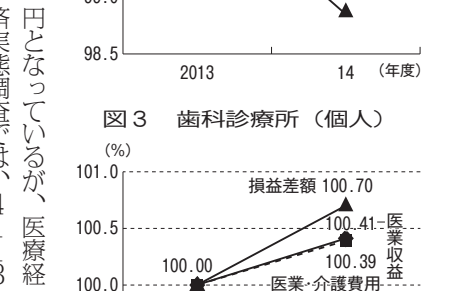
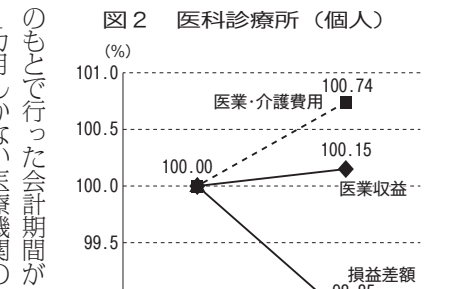
マスコミ報道の不正確さ
診療報酬のプラス改定を

以上見てきたように、前回の診療報酬改定の本体部分の改定率は、消費税増税対応分を含めてプラス0・73%とされたが、実際には消費税増税による損税拡大を補填できておらず、各医療機関の損益差額は減少している。これでは、高齢化の進展に伴う医療ニーズの拡大、多様な各医療機関が対応するのは困難になるばかりである。

景品付クイズチラシ 11月～1月まで
「日本の医療費は高いの?安いの?」
グッズご注文ください!!
お申し込みは、078-393-1807まで

改定資料としての信頼性に疑問

医療経済実態調査については、長らく協会・保団連をはじめ日本医師会など多くの医療関係団体は、その調査方法について批判し、改善を求めてきた。



報告のみを取り出して、一般的な開業医が著しく高所得を得ていると描くのは正確ではない。

「保険でより良い歯科」署名
ご協力ください!
目標 2万筆!!
署名用紙
署名用紙・リーフレット、署名付ポケットティッシュのご注文は、
078-393-1809まで

第24回 日常診療経験交流会 参加記

日常診療上の創意・工夫を皆で交流

「それでも医療は続く」地域連携の「しわ寄せ」と「しあわせ」をメインテーマとして10月25日、神戸市内で開催された第24回日常診療経験交流会の参加記を掲載するとともに、ブレ企画の模様を紹介する。(4〜6面)

A1分科会

長い期間と努力の結晶
学ぶことの多い交流会



各医院での多彩な取り組みに多くの参加者が聞き入った

25年間欠けることなく交流会で発表されている西宮市・広川内科クリニックの広川恵一先生の講演で、今年で24回目となる日常診療経験交流会が開幕した。今年も6年間の高血圧患者さんの統計をまとめた発表で、脱落率は驚異的な低さ。日頃の患者さんとの信頼関係が大きいと感心し、

られた坂井瑠実先生(東灘区・本山坂井瑠実クリニック)から、「在宅血液透析」を約20年継続された努力のお話を拝聴した。私どもは訪問点滴療法も大変な手間と思うが、それは賢いだと反省した。誰も真似の出来ない、莫大な経費とエネルギー

る睡眠ポリグラフのお話を拝聴した。ポリグラフのみでも大変な仕事であるが、高齢者で、しかも心理テストまで行うのは困難を極められたろうと感服した。高齢者の睡眠問題は、障害が大きく、主治医を悩ませている。清水氏の研究、工夫は高齢者の睡眠障害改善のヒントをたくさん提供された。利用させていたたく。来年も引き続き発表されることを期待している。

以来、公衆衛生、環境保全にも積極的に取り組まれ、「空気の汚れ調査2015」は、大気汚染調査でも通り一遍の調査でなく、橋の下などでも含め、こまめに調査を行き届かせた努力に敬服した。大気汚染は、人間の鼻粘膜を荒し、花粉症等の発病の閾値を下げている。先生方の詳細な調査資料を公表し、大いに警鐘を鳴らしてほしい。

4題とも、長い期間と、深みのある努力の結晶で、私も学ぶことが多かった。【灘区 岡本 好司】

尼崎市・野村医院の日高貴洋理学療法士。右視床出血発症の70歳代患者さんのリハビリテーションについて。自宅でヘルパーを利用して、しながら家族が炊事、洗濯をされている。リハビリによって立位姿勢、歩行動作が改善され体幹を安定させることができた。家屋調査も行い、安全な環境を整え、屋内での活動性や家事に対する意欲の向上へとつながって、リハビリが生活に活かされるということが理解できました。

明石市・永本医院の永本浩医師。耳鼻科以外の医師に向けてアレルギー性鼻炎の診断、治療に役立つアドバイスをいただきました。スギ花粉症の患者は増えてきていて、全て発症するわけではないが、日本人の4人に1人に抗体があり、風邪症状との違いは花粉症のみ「目のかゆみ」があることです。10月より長期投与が認められた舌下免疫療法も紹介くださり、治療に3〜5年を有し、効果は70%程度です。

【灘区・歯科 鈴木 明彦】

A2分科会

日常診療・検診の
経験を共有

分科会で日常診療・検診の経験を共有させていた

灘区・山中眼科の山中忍医師。福島原発事故関連の避難者健診に機器を持参して2回参加されました。福島では低線量被ばくに対する保護者の心配が大きく、健診には子どもが半数の割合で来られたそうです。眼科検診でも甲状腺疾患との関連が疑われるケースが多

演者の先生方と会場の先生方との間で活発な質疑応答があり、大変良かったです。私が座長を担当した分科会は歯科の先生方の発表でした。

伊丹市・かわむら歯科の川村雅之先生の「炭酸ガスレーザーを使った経営戦略」、同じくかわむら歯科の川村一喜先生の「炭酸ガスレーザーで日常診療にプラスαを」、須磨区・とも歯科医院の坂口智計先生の「何でも咬める入れ歯で介護度を下げよう!!」の3演題です。

どの話題も毎日の診療に欠かせないものです。日常診療の交流会なので、気楽に診療で困ったことや、疑問に思っていることが聞けるような会です。今後も話題提供など、ぜひいろいろな先生方の参加をお願いいたします。

【伊丹市・歯科 川村 雅之】

特別講演「ポリファーマシー」

薬の適切な種類・量を
いかに決めていくかが大切



ポリファーマシーの実例を示しながら開業医です改善案を紹介する金井教授

今回初めて日常診療経験交流会に参加し、神戸大学病院薬剤部長で神戸大学大学院教授の平井みどり先生による特別講演「不要な薬を減らすには」を拝聴しました。「ポリファーマシー(多剤処方)」について、実例を示しながらお話ししていただき、実感がよく感じられました。

私は内科の開業医ですが、高齢の患者さんが多く、持っておられる疾患も複数のことがあり、他院にもかかれ、必然的に服用される薬の種類・量ともに増えています。お薬手帳があっても持ってくるのを忘れられることもあり、全ての処方薬を把握するのはなかなか大変です。また、処方通り服用できているかどうか、疑問に思うこともありま

患者さんは、30日処方しても10日もすれば「薬がない」と来院されるようになります。自宅に薬は見つからず、捨ててしまったのか誤った服用をしたのか分からず、とても不安になりました。一包化して朝のみの服用にしたり、薬包に日付と曜日

最後に、今回の講演で、処方を見直し、漫然と薬を出していないか、重複はないかチェックし、肝機能・腎機能に配慮し、適切な種類・量を決めていくのがいかに大事かということがよく分かりました。少しずつ実行していこうと思います。

【赤穂市 澤田 周】

医科・歯科・薬科交流企画

すぐに役立つ
情報多彩

伝統の「医科・歯科・薬科交流企画」。今年は特別講演と医科・歯科・薬科交流企画を両方行うため、分



小田先生らが医師・歯科医師・薬剤師の日常診療に役立つ情報を語った

科会の一つのパートという形でした。トップバッターは医科の綿谷茂樹先生。「慢性疼痛患者の疼痛コントロール」という題で、痛みと鎮痛

剤、その歴史までも網羅するアカデミックな話題提供でした。惜しむらくは後半走りがちで、できたらもう少し時間をとった方が良かったようにも思いました。

2番手は歯科の小田泰史先生の「ホワイトニングについて」。しゃべり慣れた口調で、スライドでは、なでしこジャパンの選手の写真ありで、聴衆をあきさせないも

【伊丹市・歯科 川村 雅之】

B1分科会

兵庫県保険医協会として
誇れる話題提供ばかり



会場からは多くの質問が出され、演者が一つひとつ丁寧に答えた

「小児の顎関節症患者の臨床的検討」

三田市・大槻歯科医院の大槻榮人先生からは毎年報告があり、小児科サイドではなかなか知れないことを、歯科から教えていただき感謝しています。

顎関節症については、女

児の方が男児より多く、また睡眠状態と関わりがあるのではないかとこのことを指摘され、現代社会に関わりの深いパソコン、スマホに焦点を当てておられ、非常に興味を覚えました。

「インプラント手術時のオ

【西宮・芦屋支部
「Medical English」医療通訳」

西宮市・ビューハイック

リニックの坂尾福光先生が中心となって続けてこられた、西宮・芦屋支部での企画「英語で診療 Medical

English」。

12年の歩みには心から敬服しております。また、40年ほど前、前支部長の大森公一先生が、神戸大学医学部からESSでこの活動されていたことを思い出しました。私も北摂・丹波地方の田舎ではなかなかこのような企画も組めず、西宮・芦屋支部

B2分科会

日常診ならではの
多職種連携を感じる

薬剤師には関心の高い残

薬問題について、いち早く

薬局として取り組んでこられた東灘区・東神戸薬局の山口扶左子薬剤師の発表は、残薬調整ができることを患者に啓発し、実践する中で、処方設計の提案も含めた服薬コンプライアンスの向上につながり、また残薬の有効活用が医療費の削減にもなっていることをデータで示され、大変興味深

かった。

フロアからは「残薬は廃棄する」という従来の思考とのギャップについて率直な意見が出され、日常診ならではの多職種連携を感じた。

B3分科会

国の政策に翻弄される
地域医療

国に政策あれば民に対策あり

①豊岡市・谷垣医院の谷垣正人先生による「但馬における医療提供体制の現状について」

但馬地域は兵庫県の4分の1の面積を占めるが、人口は3%の過疎地域である。北半分は公立豊岡病

院、南半分は公立八鹿病院という分担があり、地域医療を担っている。しかし県行政が介入し、八鹿病院の

訪問会員さまが多々も実際に触って使っていた。ただ、AtomやCeleronやCore2 DuoなどXPやVista環境で動いていたネットワークパソコンやノートパソコン数台に、その性能に比べてPuppy LinuxやLinuxBeやUbuntuをインストール。インターネットサイトの閲覧やパワーポイントにより作成した「保険医協会空気の汚

【明石市 永本 浩】

作品展示コーナー

多彩な作品展示
皆すばらしい出来ばえ

支(さ)の出品があり、

いろいろなサルがいろいろ姿でおもしろい。三

田市・福田歯科医院の福田俊明先生の陶器の傘立ては大きくて立派でした。

昔の着物から作った人形の着物は小さくて、なかなかかわいい。

写真は大小さまざま。

【西宮市 大森 公一】



(上) すばらしい出来ばえの作品に多くの参加者が足を止め見入った。(下) 各支部が選んだお土産を抽選でプレゼント

薬科部展示企画

風邪の初期に効き
飲みやすい桂枝湯



参加者は実際に生薬を触り匂いをかぐこともできた

服用後に胃腸症状や皮膚症状は出現しなかった。葛根湯や麻黄湯が合わない人に桂枝湯を勧めてみようと思っている。

感冒の初期症状(発熱、鼻汁、ゾクゾク感、咽頭痛など)に対して、半夏厚朴湯、香蘇散とともに応用してみようという。

他にも生薬見本が置かれており、生薬を実際に触り、匂いをかぐこともできた。皆が楽しめる企画であった。

【高砂市 岡部桂一郎】

情報ネットワーク企画

旧型パソコンを
リナックスで再生

情報ネットワーク部は昨年に引き続き、展示コーナーで「旧型パソコンのLinuxによる再生」をテーマに展示を行いました。また、情報ネットワーク部役員自作の「妊娠暦」自動計算ソフトや、歯科の介護保険請求ソフトも配付しました。

少数のご来場ではありましたが、参加していた

【東灘区 森岡 芳雄】

この企画を準備している際にLinuxでパソコンを再生して、アフリカなどに届ける運動をされている方のホームページに出会ったりしました。旧型パソコンのLinux導入による再利用は、独占企業マイクロソフトへのささやかな抵抗であるばかりでなく、情報格差拡大への抵抗でもあり、サイバーテロへの国家レベルでの防衛対策でもあり、使えるものは最後まで使おうという古き良き昭和世代のエコロジーの具現でもあると私は思っています。

【東灘区 森岡 芳雄】

医科保険請求

Q and A



〈在宅療養指導管理材料加算〉

Q1 在宅でのインスリン製剤の自己注射の指導を行い、在宅自己注射指導管理料を算定する患者に対し、容体が安定しており次月に受診予定がないためインスリン製剤と血糖自己測定器を2月分渡した。この場合、血糖自己測定器加算はどのように算定するのか。

A1 診療当月に在宅自己注射指導管理料とともに血糖自己測定器加算を2月分算定します。

在宅療養指導管理材料加算には、2月に2回や3月に3回など、次月や前月に受診がないか医学管理が適切に行われている場合に、当該在宅療養指導管理料を算定する月に複数回算定できるものがあります(血糖自己測定器加算は3月に3回算定可)。

なお、血糖自己測定器加算を1月に複

数回算定できるのは、在宅自己注射指導管理料を算定している患者のうちインスリン製剤を2月分または3月分処方している患者、または在宅小児低血糖患者指導管理料を算定している場合に限りです。

Q2 1月に複数回材料加算を算定した場合、レセプトはどのように記載するのか。

A2 在宅酸素療法指導管理料の酸素ボンベ加算、酸素濃縮装置加算、液化酸素装置加算、呼吸同調式デマンドバルブ加算、または在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の経鼻的持続陽圧呼吸療法用治療器加算を1月に2回算定する場合は、当月分に加え、翌月分、前月分のいずれを算定したのかを摘要欄に記載します。

兵庫県内で6基の石炭火力発電所の建設計画が明らかになってきていることに対し、地球温暖化防止に取り組むNPO法人気候ネットワークが中心となり、協会などの協力で11月10日、石炭火力発電問題を考えるフォーラムが、神戸市内で開

石炭火力発電問題を考えるフォーラム

健康被害・CO₂増につながる石炭火発増設中止を



石炭火発の問題点について意見交換した

「欧米では石炭火力発電所の建設にブレーキをかけ始めている。一方で、日本は、2030年の電源構成比率を決めた『長期エネルギー需給見通し』において、石炭火力・原子力発電をベースロード電源として位置付け、石炭火発・原発回帰を進めている。石炭火発はCO₂排出量が多く、健康影響上も望ましくない。太陽光、風力などの再生可能エネルギーの普及を促進・支援するべきだ」と訴えた。

他に、神戸大学大学院法学研究科の島村健教授が「環境アセスメントの問題点」、市民が作った太陽光発電所である宝塚すみれ発電所代表取締役の井上保子氏が「再生可能エネルギーでまわづくり」をテーマとして、報告を行った。

催された。「温暖化対策の危機を乗り越える」兵庫の石炭火力発電所の新設をめぐって」をテーマに、会場いっぱい50人超が参加した。

分野別のパネルディスカッションでは、協会の森岡芳雄環境・公害対策部長(副理事長)が「石炭火力発電所と大気汚染健康被害」をテーマに発言。「大気汚染によってアレルギー疾患は出やすくなり、免疫機能が未熟な小児は特に大気汚染の影響を受ける。県内6基も石炭火力発電所を増設すると大気汚染源が増え、アレルギー疾患の患者は増えることになる。石炭火力発電所は新たなつくることが大切だ」と強調した。

「欧米では石炭火力発電所の建設にブレーキをかけ始めている。一方で、日本は、2030年の電源構成比率を決めた『長期エネルギー需給見通し』において、石炭火力・原子力発電をベースロード電源として位置付け、石炭火発・原発回帰を進めている。石炭火発はCO₂排出量が多く、健康影響上も望ましくない。太陽光、風力などの再生可能エネルギーの普及を促進・支援するべきだ」と訴えた。

秋の共済制度普及 11月末締切迫る！

団体定期生命保険

グループ保険

保険の見直しに効きます！
ネット生保と比べてみてください

■団体保険だから断然安い保険料

■過去6年の平均配当率45%

■最高5000万円の高額保障

■最長75歳まで保障

■配偶者1000万円セット加入あり

■ライフプランに合わせていつでも増額・減額可

■医師による診査はありません

病気やケガの休業に備えて、高い保険料を払っていませんか？

休業保障制度

割安な掛金が満期まで変わりません／最長75歳まで730日の充実保障／弔慰・高度障害、精神疾患も給付

所得補償保険

休業保障制度の上乗せに。自宅療養も補償

医師賠償責任保険

医療上の事故、医療施設の事故を補償

お問合せは共済部まで ☎078-393-1805

「話せる英会話」実践編の泌尿器科に参加した。坂尾先生と英国人のコンロイ先生の指導で、急性膀胱炎、前立腺肥大、血尿、腎結石」を西宮医療会館で開催した。坂尾福光先生(西宮市・ビューハイッククリニック)がアドバイザーを務め、医師・薬剤師・医療通訳ら11人が参加した。結城清之先生の感想を紹介する。なお今回は年明け1月の開催を予定している。



坂尾先生(奥)とコンロイ先生(中央)のアドバイスを受け、英会話を練習

内容は、事前に案内されていた書籍『続々・英語で診療』『英語で診療・外科系』で予習していた泌尿器科領域のもので、よく分かっていった。コンロイ先生はなめらかな発音、簡単な単語で英文を話された。やはり英会話は自分で慣れることが大事だと思う。病気の中でも泌尿器科の病

いよいよマイナンバー制度が来年1月から開始されようとしている。与野党を問わず、為政者や役人は国民を掌握したい欲求がある。その欲求に沿った今回のマイナンバー制度は紛れもなく国民を個別に、また家族ごと掌握しようとする制度だ。

マイナンバー制度導入は、現在、歴史に残る強行採決をした安全保障法を隠れみのにするかのごとく静かに進められようとしている。かつて住基ネット関連で問題が頻発し、世論の反感を受ける形で個人情報保

護を訴えていたマスコミが、今回は沈黙した。この制度の影響を考えていきたい。マイナンバーは住基カードと違い、「見せる番号」になったことに最大の問題がある。情報漏洩に関する責任は、本人と取り扱う事業者に重点を置き、国の責任を明確にしない点が最も許せないところだ。今後ひもつけられる個人情報、預貯金はじめ、動産・固定資産、医療情報、運転免許証など各種証明、決済で使用するカードの状況などで、予想されるひも

日本医師会レセコン ORCA
及び 連動 電子カルテ Dr.電カル

医内経費の見直しは、選んで納得！安心のORCAで！

販売方式
(ORCA1台 80万円～、月保・ト費 8,500円～)

レンタル方式
(ORCA1台+月保・保守・ト費 計19,800円～)

※別途データ移行費は有償です。

詳細は ネットでも

メディクラーク

を検索！！

日医IT認定サポート事業所 4101015

株式会社メディクラーク

神戸市中央区相生町5-10-18

<HP>www.mediclerk.co.jp

フリーダイヤル 0120-52-6262

西宮・芦屋支部は10月16日、Medical English #4「Urology Field 泌尿器科領域」急性膀胱炎、良性前立腺肥大、血尿、腎結石」を西宮医療会館で開催した。坂尾福光先生(西宮市・ビューハイッククリニック)がアドバイザーを務め、医師・薬剤師・医療通訳ら11人が参加した。結城清之先生の感想を紹介する。なお今回は年明け1月の開催を予定している。

膀胱炎、前立腺肥大症、血尿、それに当日用意していた書籍『続々・英語で診療』『英語で診療・外科系』で予習していた泌尿器科領域のもので、よく分かっていった。コンロイ先生はなめらかな発音、簡単な単語で英文を話された。やはり英会話は自分で慣れることが大事だと思う。病気の中でも泌尿器科の病

90分のうち、後半の30分は予習した英会話文が正しいかどうか、ロールプレイで確認する。多少の言い回しの誤りがあっても、コンロイ先生がいていいに直してくださる。

マイナンバー制度の本質とは
川西市・歯科 島津 俊二

つげは、枚挙にいとまがない。こうした国民のビッグデータは企業が最も欲しがっている情報なのだ。拡散するマイナンバーと個人情報を守り、情報がひも付けされるのをいかにくい止めるかが現状では最も大切ではないだろうか。また、われわれの多くが個人事業主であるが、その事業において事業主のマイナンバーが使用される。このことは事業主であるわれわれのマイナンバーの拡散の危険性が増すことに他ならない。

政府に暴走をさせないために、国への監視の目と悪用する者に対しての防御の手を緩めてはいけない。認知症や要介護者のマイナンバーの安全性や、本人以外の個人カード使用の場合の安全性や責任の所在、紛失したり盗難被害にあったりした場合の適及救済処置の確立など、これからますます問題点が押し寄せてくる。

勤務医の先生方へ

住所・勤務先変更は協会までご連絡を

自宅住所・電話番号・勤務先などを変更された勤務医会員の先生は、事務局までご連絡ください。

連絡先は ☎078-393-1817 組織部

診内研 より484

プライマリ・ケア医に伝えたいこと ～ポケットエコー、筋膜性疼痛、機器進歩の地域への影響力～

弘前大学医学部附属病院 総合診療部 小林 只先生講演



兵庫県保険医協会

☎ 078-393-1801

Fax 078-393-1802

http://www.hhk.jp/

地域の現場は、間近に迫る超高齢社会に対応するために奮闘している。今回、私が特にプライマリ・ケア医に伝えたい以下の4項目を紹介した。

- 1) 医師のパワースーツとして現場の診療力を100倍に向上させるエコー機器
- 2) 医療の民主化を促し、地域ケアを発展させるための多職種使用の「判断のためのポケットエコー」
- 3) 疼痛治療に携わるプライマリ・ケア医の急増を支える、安全・簡単・有効的な治療手段としての「エコー×生理食塩水×筋膜性疼痛×多職種」という整形外科技術
- 4) 人々にとって必要かつ身近な医療の発展的転換を図るために、ヘルスケア・デバイスと地域が効果的かつ適切に融合・協力するための注意点と考え方

1) 医師のパワースーツとして 現場の診療力を100倍 (運動器エコーを中心に)

腰痛症などの運動器疼痛は地域における最頻度の主訴である。超高齢社会に突入する日本では、疼痛患者は激増すると示唆されている。

運動器疼痛は「痛み→活動量が低下→引きこもり→認知機能低下・QOL低下→個人の孤独死and社会の経済損失」を招く代表的な原因であり、われわれは医療を超えて生活レベルでも関わる必要がある。その最中、一般内科医や療法士らの整形“内科”の技術(例:筋軟部組織・関節の診察、外傷初期対応、手術が必要な患者の適切な紹介、疼痛管理)が補える「運動器エコー」が注目されている。

今回は、筋軟部組織まで包括した内科症候学(参照1)を概説した。また、生理食塩水によるエコーガイド下筋膜リリース注射(後述)のような安全かつ簡単に実施可能な筋軟部組織疼痛の治療方法が開拓され、一般内科医でも安全・適切な局所治療が可能になり、患者満足度も急上昇している。

今後、運動器エコーと筋軟部組織疼痛を共通言語にして、多職種が連携した地域の運動器疼痛ケアの展開が期待される

(参照2)。

参照1:松岡史彦、小林只:プライマリ・ケア・メディカルサイエンス社(2012)

参照2:小林只:シンポジウム「エコーの有用性」抄録。第28回日本臨床整形外科学会学術集会(2015)

2) ポケットエコーは聴診器の仲間・地域の味方。診断から判断へのパラダイムシフト!

パソコン機器類が「デスクトップ・ノートパソコン・スマートフォン」と進歩し、皆さんが自然と生活で使い分けのように、エコーも「検査室の設置型・外来の移動式・どこでも携帯(ポケットエコー)」と同じ道を歩んでいる(右図)。

スマートフォンのごとく、誰もが1人1台使う道具としてのポケットエコーの使い方は「その場で手軽にちょっと確認」である。エコー機器は、薬事法上は電子体温計や血圧計と同じ分類であり、しかも小型・安価・精度を担保したポケットエコーが開発されるにつれて、もはやエコーは医師だけが使用する特殊な道具ではなく、看護師・検査技師・療法士・鍼灸師・一般人にもすでに使用されている。

今回は、看護師含めたエコー初心者でも次の日から役立つ使い方を、時代の変化と機器の進歩に伴う診療体系の変化という視点を交えて紹介した。

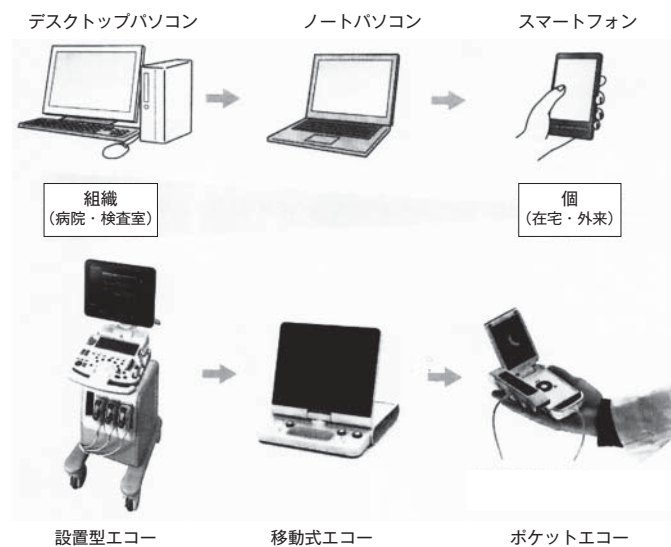
参照:小林只:ポケットエコー自由自在。中外医学社(2013)

3) 生理食塩水注射による エコーガイド下筋膜リリース

人が痛みを感じる解剖学的部位の多くは「膜Fascia」である。Fascialは繊維性結合組織の総称で、その配列構造と密度から内臓(髄膜・胸腹膜など)や皮下組織・脂肪組織・筋膜・靱帯・腱などに分類される。

運動器疼痛で高頻度である筋膜性疼痛症候群(MPS:“Myofascial” pain syndrome)は、その中でも「筋膜Myofascia」に注目した概念である。

図 機器の進歩が生活(医療)を変える



写真提供:コニカミノルタ株式会社(設置型エコー・移動式エコー)
GEヘルスケア・ジャパン株式会社(ポケットエコー)

参照:小林只:「ポケットエコーは聴診器の仲間!」地域の味方!前編
Gノート・Vol.2 No.2(4月号)2015より一部改変

Fasciaの治療の中心は全身の動作分析と治療部位選択にある。Fasciaの痛みは遠隔に感じる(関連痛)ことも多く、姿勢・動作の癖・全身の軟部組織の連続性などの影響もあるため、患者が自覚症状を訴える部位のみを治療すれば十分とは限らない。そのため、病歴・動作分析などから治療部位を選択する必要があるのだが、多くの医師にとって技術的なハードルが高い。

今回は、肩こり・腰痛の原因部位(頸肩部や腰部以外の顎関節・呼吸筋・骨盤・足などに原因があることもまれではない)を見分けるための簡単な全身検索方法と、多種多様であるFasciaの治療方法(徒手・鍼・注射・物理療法・運動療法など)との相補関係を紹介した。

参照1:小林只:麻酔薬を使わないエコーガイド下筋膜リリース注射。第27回日本整形外科超音波学会ランチョンセミナー抄録

参照2:白石吉彦他:THE整形外科、南山堂(雑誌治療2015年5月号)

4) ヘルスケア・デバイスと地域の効果的かつ適切な融合に向けて

ウェアラブル・デバイス(身体に装着して利用する機器)の急速な発展により、バイタルサイン測定は大衆化(一般人が測定・管理が現実化)された。

さらに、エコーを含むほとんどの医療機器もまた大衆化されつつある現状で、その判断基準(医師が病院内で判断する基準とは違う医療機関への連絡基準など)を早急に整備しなければ、社会・地域は大きな混乱を来すだろう。

それを防ぐために、教育やシステムなどの現場の質を担保する手法を含めたヘルスケア・デバイスの適正使用のためのプラットフォームを作る必要があると考えている。今回は、その第一歩として「多職種使用によるエコー」活動を紹介した。

(10月17日診療内容向上研究会より)

審査・指導相談日

- 12月10日(木) 15時～
- 協会5階会議室

※医科は事前予約制 ☎078-393-1803まで 歯科は随時 ☎078-393-1809まで
※「指導通知」が届いたら、まず保険医協会にご連絡ください。
※『月刊保団連』同封の「保険審査相談用紙」をご利用ください。

* 共済部だより* 「休業保障制度」ご加入の先生へ

休業されたら、
すぐ共済部までご連絡ください

☎078-393-1805

- 必ず第三者の医師に受診してください。(受診後の休業に対し保障します)
- 柔道整復師(はり・きゅう)等による施術は給付対象外です。
- 休業中は診療行為はせず、完全にお仕事を休んでください。
※自宅療養、代診をおいても給付されますので、忘れず申請してください。



兵庫県保険医協会へのお問い合わせは
ダイヤルインをご利用ください
(受付 9時30分～17時)

医科 保険点数
審査・指導相談
078-393-1803

共済制度

078-393-1805

経営・税務・融資
開業相談

078-393-1817

新聞・政策・反核
平和・環境公害

078-393-1807

歯科

078-393-1809

代表
078-393-1801
FAX
078-393-1802